

## < 礼文町の橋梁長寿命化修繕計画 >

### 1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

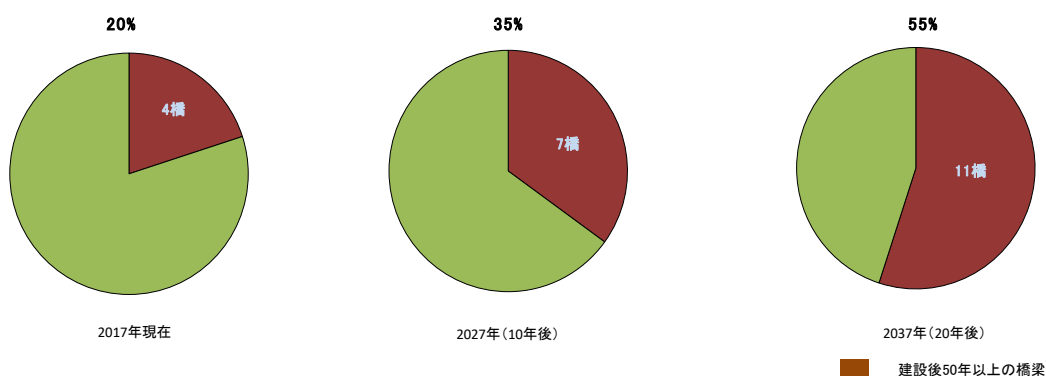
#### 【背景】

- ・ 礼文町が管理する道路橋は、現在22橋あり、このうち架設後50年経過している橋梁は4橋である。しかし、20年後の2037年には、架設後50年以上の橋梁が全体の55%にあたる11橋となり、急速に高年齢化が進む。
- ・ 今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

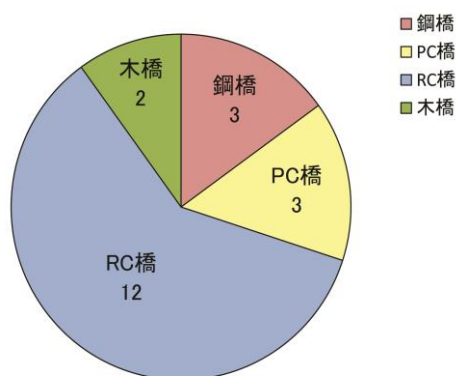
#### 【目的】

- ・ 定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架替えに係る費用を縮減する。
- ・ 重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定する。

#### 建設後50年以上の橋梁箇所数の増加



#### 橋種別橋梁数 (全22橋)

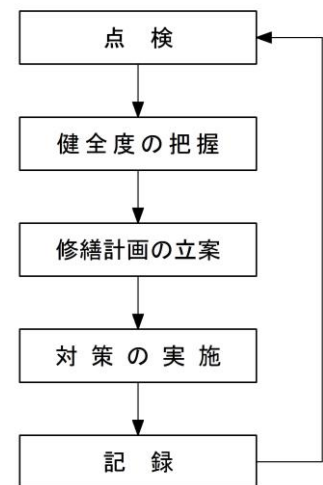


大備2号橋 (橋長10.7m)  
昭和43年供用開始 (50歳)

## 2. 長寿命化修繕計画の基本的な方針

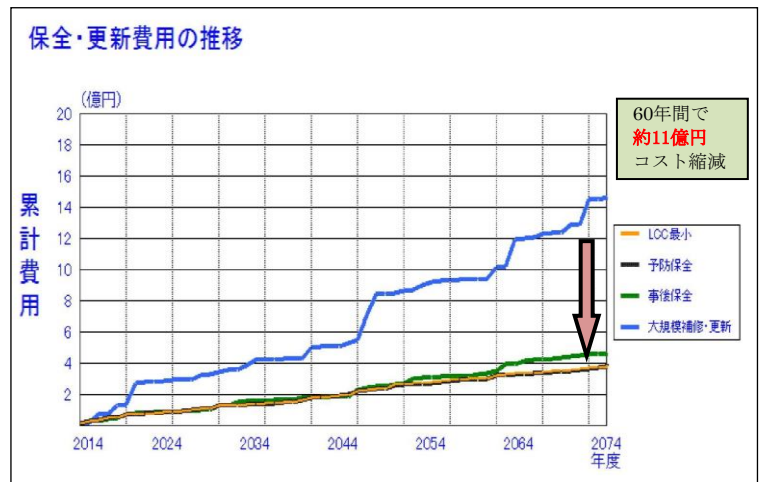
- ・点検マニュアルに基づき、専門家による橋梁点検を実施し、橋の健全度を把握します。橋梁点検は、おおよそ5年ごとに行い、新規点検毎に橋梁個別施設計画を更新します。
- ・それぞれの橋において、点検により把握した健全度に基づき、最適な修繕計画（低コストかつ長寿命化を図れる計画）を立案します。
- ・全対象橋梁において、長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて順次、修繕を実施します。
- ・点検および修繕した結果は、橋梁台帳および点検調書等に記入し、電子データとして保存します。

### 橋の維持管理の流れ



## 3. 長寿命化修繕計画の効果

- ・大規模補修・更新となった場合、60年間の累計費用が約15億円程度、予防保全を行った場合の費用は約4億円程度であり、予防保全による60年間のコスト削減効果は約11億円程度が見込まれる。



## 4. 計画策定担当部署および意見を聴取した学識経験者

### 1) 計画策定担当部署

礼文町 建設課 TEL : 0163-86-1001

### 2) 意見を聴取した学識経験者

北海学園大学 工学部 社会環境工学科 杉本教授